

の矛盾性を めるキリスト教学者たち (6/7) : のテキストに する容

:

明: 改 の更なる 例。

目: [事比 宗教バイブル](#)

より: ミシュアル ブン class=

ED06 Jun 2011

集日 06 Jun 2011



ロベゴット フリ ドリヒ コンスタンティン フォン ティッシェンドルフ博士は、19世 における最も有名な保守的 学者の一人でした。彼はまた、 史上でも最も な“三位一体”の者の一人でもありました。彼にとって生涯最高の は、人 の知り得る最も古い 写本である“シナイ写本”をシナイ山の カタリナ修道院で したことでしょう。この4世 代の写本の研究から分かった最も 的な事 の一つは、マルコによる福音 が 在信じられているように16:20ではなく、16:8で していたことです。言い えると、最 の12 (マルコ16:9 16:20) は4世 より の 代に教会によって 入されたことになります。アレクサンドリアのクレメンスとオリゲネスは共に、それらの 々から引用したことは一度もなかったことが分かっています。 に、それらの12 はシリア写本、ヴァチカン写本、ボッピオ写本のどれにも されておらず、“イエスの 活”について嘘をついていたことも されました。教会は、最低でもイエスが去った400年 に

“神感”を受け、この福音 の 末部にイエス 活の逸 を新たに 入することにしたのです。

“シナイ写本”の著者は、マルコによる福音が16:8で していたことをよく承知していました。この点を するため、私たちはこの の直 に、彼は巧みな曲芸によって“マルコによる福音 ”という言 を用いてテキストを させます。ティッシェンドルフは なキリスト教保守派でしたが、そのため彼はこの食い いを何 なく に いのけることが出来ました。マルコが12使徒ではないという事 、またイエスの存命期の直接の 人ではなかったという彼の推 は、彼の 告をマタイやヨハネなどの12使徒に次ぐ二次的なもの と なしたので す。しかし、この の他の部分からも て取れるように、 在キリスト教学者の多数派はパウロによるものが最古の の 物であると 知しているのです。“マルコによる福音 ”はそれらを密接に追随しており、“マタイとルカによる福音 ”は、ほぼ世界的に“マルコによる福音 ”を元にしてしていると 知されています。この は何世 にも渡るキリスト教学者らによる 密で骨を折る研究による 果なのであり、その をここで反 することは出来ません。ただ、 在最も著名なキリスト教学者らによってそれが の余地のない事 として 知されていることを述べるだけで十分でしょう。

今日、私たちが手に取ることのできる 代 の翻 者や出版社らは、 者に して次第に率直になってきています。彼らはこれらの12 がずばり教会による捏造であり、神の言 ではない、とまでは めませんが、少なくとも“マルコによる福音 ”には二つの“本”があるという事 と、どちらの“本”を ぶかという 肢を 者に提供しているのです。

ここで、“もし教会がマルコによる福音 を改 したのであれば、彼らはそこでその手を止めたのか、それともそれにはまだ きがあるのか？”という疑 が浮かび上がります。ティッシェンドルフはまた、“ヨハネによる福音 ”が教会によって代々激しい改 の手に晒されたことを しています。以下はその例です：

- 1.ヨハネの7:53から8:11に く （ 通の女）はシナイ写本、またはヴァチカン写本と いった、 代キリスト教における の古代写本から されていないこと。

- 2.また、ヨハネ21:25は 世において 入されたものであるという と、イエスの墓が

空だったと るペトロの逸 (ルカによる福音 24:12) は古代写本に含まれていなかったことです。

(このトピックに しては、‘Secrets of Mount Sinai (シナイ山の秘密)’ by James Bentley, Doubleday, NY, 1985に が されています。)

のテキストが代々捏造され けてきたことに するティッシェンドルフ博士による の多くは、20世 の科学によって立 されてきました。たとえば、紫外 を用いたシナイ写本の によって、“ヨハネによる福音 ”が元来は21:24で し、その に 々と“ヨハネによる福音 ”という言 が付加されていたことが明らかにされています。 の 代になって、全く なる“神感”を受けた人物がペンを握り、24 に くテキストを消去し、 在の にあるようなヨハネ21:25という“神感”によるテキストを付加したのです。

捏造の は枚 にいとまがありません。たとえばシナイ写本のルカ11:2 4の“主の祈り”は、 在私たちに媒介的に届けられている、何世 にも渡る“神感”の 正を受けたバ ジョンとは根本的に になっているのです。キリスト教の写本において最古の写本であるルカ11:2 4からは以下のように て取ることが出来ます：

“父よ、御名が崇められますように。御国が来ますように。みこころが天に行われるとおりに、地にも行われますように。わたしたちに必要な を 日与えてください。わたしたちの罪を赦してください、わたしたちも自分に い目のある人を皆赦しますから。わたしたちを 惑に遭わせないでください。”

さらに、ヴァチカン写本はシナイ写本同 に、キリスト教学者らによって深い畏敬の念をもたれている古代写本です。これらふたつの4世 写本は共に、 在 されているなかでも最古の写本であるとされています。ヴァチカン写本の中でのルカ11:2 4は、シナイ写本のそれよりもさらに短くなっています。そのバ ジョンでは“みこころが天に行われるとおりに、地にも行われますように。”というくだりが欠落しています。

では、これらの“食い い”に する教会による公式の 解は一体どのようなものだったのでしょうか？ 教会はこうした状 にどう反 したのでしょうか？ 彼らはキリスト教文学の

大学者らを 集させ、教会の所有していた古代キリスト教の写本を共同で研究し、何が 真の神の言 であるかということに合意したのでしょうか？

それとも直ちに写本の をつくってキリスト教世界に配布し、何が改 されなかった神の 言 であるかに し、他の意 を くということ を みたのでしょうか？ 残念ながら、どちらも 答えは「いいえ」なのです。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/2662>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。